

平成20年9月26日

貧酸素水塊速報 (2008年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
【協力】 神奈川県水産技術センター ○内湾底びき網研究会連合会
千葉県環境研究センター 東京都環境局
第三管区海上保安本部 ○千葉灯標モニタリングポスト
国立環境研究所

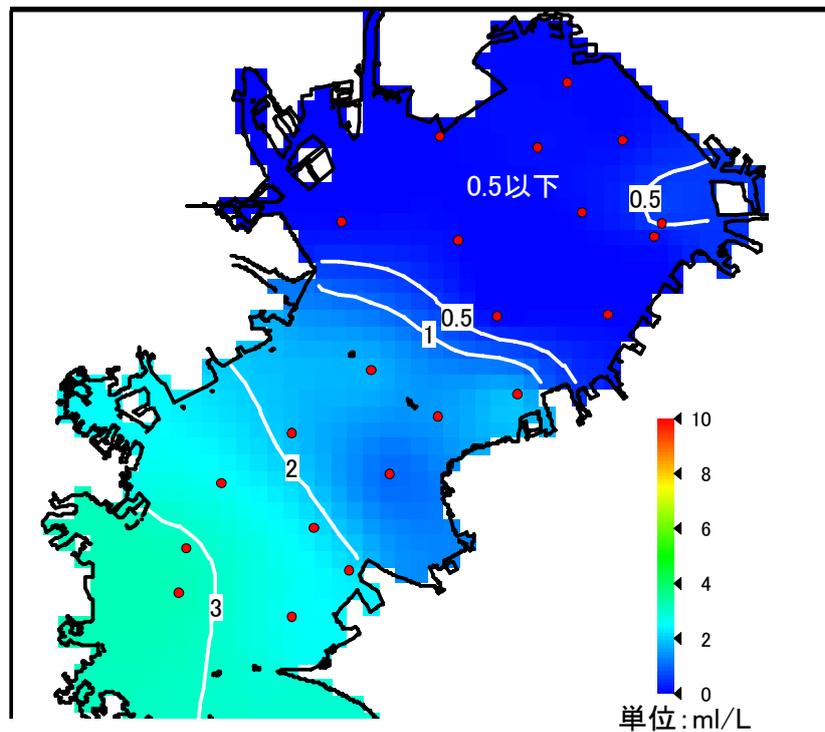
(今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成20年9月23日観測結果

内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

9月20日頃に関東地方の南部を台風13号が通過しました。しかし、それほど強い攪拌を起こさなかったためか、引き続き貧酸素水塊は内湾の広範囲に分布していました。特に北部海域は貧酸素化が強く、ほぼ全域が溶存酸素量0.5ml/L以下のほぼ無酸素状態となっていました

依然として貧酸素水塊の湧昇や青潮が発生し易い状況になっています。今後も風向きに十分な注意が必要です。



底層の溶存酸素量分布

酸素飽和度と溶存酸素量の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5ml/L	貧酸素水
30~40%	2.0ml/L	魚類に影響
	1.5ml/L	貝類危険
	1.0ml/L	
10%	0.5ml/L	